

案内図
配置・平面図

別紙のとおり
別紙のとおり

2 施設の特徴

(1) 配置計画

新校舎は既存とほぼ同じ配置とし、普通教室の良好な学習環境と既存校より広く整形なグラウンドを確保するとともに、周辺環境を著しく変えないよう配慮する。また、体育館は敷地の西側に配置し、地域利用や非常時の避難所機能に対応できる配置とする。

(2) 平面計画

普通教室は2～4階の南側に配置し、自然採光と自然通風を確保する。

図書室は建物中心に配置し、児童の交流や学習活動に利用しやすい位置とする。

職員室などの管理諸室は昇降口及び校庭・校門を視認できる位置とする。

昇降口は1階と2階に分散配置し、登下校や休み時間の混雑や児童の安全に配慮する。

まちづくりセンター・社会福祉協議会・あんしんすこやかセンターは校舎北東側の地下部分に計画し、ドライエリアの設置により採光や外気を得られる計画とする。

(3) 動線計画

児童の教室移動の動線に配慮して、普通教室と特別教室はできるだけ同一階に配置する。また、登下校の動線に配慮し、適切な位置に昇降口や階段を設ける。体育館は西門に近接して配置し、地域住民も利用しやすい計画とする。また、給食等の搬出車両、まちづくりセンター・社会福祉協議会・あんしんすこやかセンター利用者、児童の動線を明確に分離する。

(4) 外構計画

敷地西側の茶沢通り沿いは、既存よりも見通しを良くすることで児童と地域住民の安全を確保する。また、北沢川緑道沿いに学園庭や緑地帯を設け、緑道との調和を図る。

(5) 防災計画

災害時における拠点隊（まちづくりセンター）と避難所との連携を踏まえた機能性・利便性のある動線とし、校庭・体育館・防災倉庫等の位置に配慮する。

また、拠点隊の初期活動のため、非常用電力が72時間継続可能な発電設備（燃料備蓄）を設置する。

(6) 省エネルギー及び環境対策

屋上緑化、太陽光発電、雨水利用等を行い、学校全体が児童の環境教育の場となる仕組みを整備する。

(7) 仮設計画

花見堂小学校を仮校舎として活用することで、敷地内に仮設校舎を設置する場合と比べ、校庭の使用が可能となる利点があり、コスト縮減が図られる。その際、新たに設定する通学路については、学校、保護者、関係所管と連携して対策を講じながら児童の安全確保を図る。

また、仮設期間中の避難所については、対象町会と協議し他校を利用することとしている。

(8) 既存施設の跡地利用について

代沢まちづくりセンターの跡地は、他の行政需要への対応、貸付・売却による税外収入策等を含め、資産としての有効活用を検討する。

3 概算工事費

本体工事費 : 約 37.8 億円 (外構・校庭整備工事を含む。)

仮校舎整備費 : 約 2.1 億円 (既存校舎改修・仮設校舎)

4 工事工程

平成 28 年度 実施設計、仮校舎改修 (期)・仮設校舎設置工事
(仮校舎は現花見堂小学校を使用予定 一部仮設校舎を増築)

平成 29 ~ 31 年度 既存校舎解体工事、校舎新築工事、校庭整備工事

平成 31 年 9 月 新校舎供用開始

5 今後のスケジュール (予定)

平成 28 年 5 月 24 日 教育委員会報告

平成 28 年 5 月 25 日 区民生活常任委員会報告

平成 28 年 5 月 25 日 文教常任委員会報告

平成 28 年 5 月 26 日 福祉保健常任委員会報告

平成 28 年 6 月下旬 住民説明会